

福島県立医科大学々報

目 次

○ 学 事	-----	
平成30年度入学式学長式辞	2
平成30年度入学者数	3
平成29年度医学博士授与者（後期）	3
○ 人 事	-----	
新任教授等・新任准教授等・新任講師等	4
新任あいさつ	5
・理事（県民健康管理担当）兼副学長（県民健康担当）	八木 沼洋行	
・医学部長	竹石 恭知	
・看護学部長	太田 操	
○ 諸 規 程 改 正	-----	
平成30年2月から平成30年7月までの主な諸規程の制定、改正及び改廃関係	6
○ 役員会・経営審議会・教育研究審議会・医学部教授会・看護学部教授会	-----	
役員会	9
経営審議会	10
教育研究審議会	10
医学部教授会	10
看護学部教授会	11

学 事

■ 平成30年度福島県立医科大学入学式

学長式辞

福島県立医科大学 学長 竹之下 誠 一

本日ここに、福島県知事様、福島県議会議長様のご臨席と保護者の皆様のご列席のもと、平成30年度福島県立医科大学入学式を挙げてまいりましたことは、本学にとってこの上ない喜びであります。

ただいま入学を許可された医学部130名、看護学部84名、大学院医学研究科44名、看護学研究科4名の皆さん、ご入学誠にありがとうございます。

君たちは、医学・看護を中心に医療のプロフェッショナルになるという高い志を実現するために、この福島県立医科大学を選び、今日、ここに集いました。

入学にあたりすべての皆さんに、考えていただきたいことがあります。それは、福島で医療を学ぶことの意味です。ご存じの通り、2011年の東日本大震災、原発事故以降「福島」は、良きにつけ悪きにつけ、世界中に知られるようになりました。その福島で医療のプロフェッショナルを目指す皆さんにこれからあらゆる場面で、福島で起きたこと、その影響、また、未来など様々なことを、いやおうなしに質問され、意見が求められます。なぜなら、本学で医療を学ぶ、ということは、誰よりも福島の医療の最前線を把握していると期待されているからです。本学はこの7年にわたり、まさに県民と向き合い、被災者の皆さんを支え、復興を最前線で支えて来たという自負があります。その本学に入学し医療を学ぶということは、今日、この日から、震災、原発事故からの復興の「当事者」となるということです。当事者になる、とはその時その場にいることを指しているではありません。それは、震災、原発事故と自分自身との間に接点を見出し、考え、行動することです。そして、ここで起きたこと、起きていることを当事者として自分の言葉で語れるようになることです。自分は知らない、関係ない、という姿勢は許されないことを、入学に際し肝に銘じてください。本学は、不安を抱える県民・国民を支え、この災害と惨禍に対して最前線に立ち続けることを運命づけられた大学であり、私たちは多くの犠牲となった方々の上に、今を生き、新たな学びの場を与えられているのです。

さて、今、私たちが直面しているこの試練は、「過去に例がない」とよく表現されます。しかし、福島の地は過去にも未曾有の災害や惨禍を不屈の精神で乗り越えてきた歴史があります。戊辰戦争の戦火の中、傷ついた兵士の治療にあたった医療者たちが、国内でもいち早く、この地に西洋近代医学を導入しました。150年前に医療教育機関と

して創設された須賀川医学校が本学の前身となったのです。そして、そこで学んだ先輩のなかには、関東大震災後、壊滅した街の復興を推し進め、現在の東京の礎を作った復興院総裁後藤新平をはじめ多くのすぐれた医療人を輩出してきました。さらに1888年（明治21年）の磐梯山大噴火という自然災害に対しても、創立当時の日本赤十字社いわゆる日赤と福島の医療者は協同で敢然と災害医療に取り組みました。

本学の先達は、壮絶な歴史の中で、当時の先端医療を駆使し、災害救護に当たり、街の復興に力を尽くしてきた経験を持っていました。激動の世相の中でも医療の充実と発展に貢献し、優れた医療人の育成、医学の進歩・発展に努めてきたのです。

このように福島と本学の歴史を振り返るとき、本学の先達が目の前の状況を的確に把握し、いかなる過酷な状況に対しても決して折れることのない「しなやかさ」をもって対応していたことが分かります。そうすることで医療者としての知識を得、思考を深めると同時に、人間としての幅を広げていったのです。そして、このことこそ、私たち福島県立医科大学が、世界に誇れる先達から受け継がれてきたDNA すなわちレジリエンスです。困難な状況にしなやかに適応して未来を切り開く力です。

レジリエンス（「困難な状況にもかかわらず、しなやかに適応して生き延びる力」）

レジリエンスの根幹は「しなやかさ」です。これから皆さんは、この学び舎で、それぞれの分野でプロフェッショナルになるための厳しい修業に入ります。君たちを暖かく指導してくれる先輩から常にいわれる言葉があります。それは、「修行とは矛盾に耐えること」です。そして、医療は、まさにその最前線です。皆さんが医療の現場で向かい合う相手は、その方になんの落ち度もないのに、病に苦悩している人たちばかりです。我々医療者は当然、全力を尽くして診療にあたります。しかし、病める方々は、直接の担当者である我々に、様々な不平・不満をぶつけてきます。なぜなら我々しかいないのです。理不尽に感じるかもしれませんが、これが現実です。この不条理と矛盾に満ちている現場において、知識や技術の習得は、医療者の最低限の条件でしかありません。人を思いやる心に満ち、かつ信頼されるだけの良識や人間的な力が必須となります。この不条理と矛盾に満ちている医療の現場でプロを目指す皆さんは、何度も失敗や挫折を経験するでしょう。しかし、精神科医の齋藤茂太先生曰く、「人生に失敗がなければ、人生を失敗します」。これらの試練を、鍛錬の機会ととらえ、本学のDNAである不屈のレジリエンスの精神で、しなやかに対応してください。

この医大の誇るしなやかなレジリエンスを武器に、みなさんの志を実現してください。君たちは我々の希望です。夢や希望を実現しその実績を持って、県や国はもとより、世界でも活躍してください。これが、「福島県立医科大学

で学ぶ者、ひとりひとりの使命と心得ること」であると皆さんに伝え、式辞と致します。
諸君の健闘を祈ります。

■ 平成30年度福島県立医科大学入学者数

① 医学部新入生130名

	男	女	計
県内	29名	15名	44名
県外	58名	28名	86名
計	87名	43名	130名

② 看護学部新入生84名

	男	女	計
県内	3名	55名	58名
県外	0名	26名	26名
計	3名	81名	84名

③ 大学院新入生48名（4月入学）

	男	女	計
医学研究科(博士)	27名	3名	30名
医学研究科(修士)	4名	5名	9名
医学研究科(共同・修士)	3名	2名	5名
看護学研究科(修士)	1名	3名	4名
計	35名	13名	48名

■ 平成29年度医学博士授与者（後期）

氏名	学位論文名
大野 雄康	Lipopolysaccharide inhibits myogenic differentiation of C2C12 myoblasts through the Toll-like receptor 4-nuclear factor- κ B signaling pathway and myoblast-derived autocrine/paracrine tumor necrosis factor- α . (Lipopolysaccharide は Toll-like receptor 4-nuclear factor- κ B および autocrine/paracrine tumor necrosis factor- α 経路を介してマウス筋芽細胞の筋形成を抑制する)
樫村 誠	Who returns and becomes a regular blood donor? Analysis of a donor database in Fukushima, Japan. (福島県における複数回献血者の特徴-献血者データベースの分析-)

関澤 春仁	ナツハゼ果実の A 型インフルエンザウイルス感染阻害活性に関与する成分の探索
渡邊 俊介	Associations With Eicosapentaenoic Acid to Arachidonic Acid Ratio and Mortality in Hospitalized Heart Failure Patients. (入院した心不全患者におけるエイコサペンタエン酸とアラキドン酸比と退院後の生命予後に関する検討)
Dirja Bayu Tirta	Potential of laryngeal muscle regeneration using induced pluripotent stem cell-derived skeletal muscle cells. (マウス iPS 細胞由来筋細胞による甲状披裂筋再生)
日高 友郎	Prevalence of Metabolic Syndrome and Its Components among Japanese Workers by Clustered Business Category. (産業業態別にみた日本の労働者におけるメタボリックシンドロームおよびその構成要因の有病率)
阿部 理	Role of (-)-epigallocatechin gallate in the pharmacokinetic interaction between nadolol and green tea in healthy volunteers. (健常人におけるナドロールと緑茶の薬物動態学的相互作用における(-)-エピガロカテキンガレートの役割)
野寺 穰	Myocardial Infarction Induces Sympathetic Nervous Remodeling in Intermediolateral Nucleus.
渡邊淳一郎	胃癌患者における腫瘍内 CD15/CD8陽性細胞比の重要性～臨床病理学的因子および予後に関する検討～
新畑 覚也	Association between accumulation of advanced glycation end-products and hearing impairment in community-dwelling older people: a cross-sectional Sukagawa study. (地域高齢者住民における最終糖化産物の蓄積と聴力障害との関連：須賀川横断研究)
山浦 匠	Family with sequence similarity 83, member B is a predictor of poor prognosis and a potential therapeutic target for lung adenocarcinoma expressing wild-type epidermal growth factor receptor. (肺腺癌における FAM83B 発現解析と臨床的意義)
井石 雄三	DCEBIO induces myogenic hypertrophy independently from Ca ²⁺ activated K ⁺ channels. (カルシウム活性化カリウムチャネルを介さない DCEBIO の筋肥大効果)
佐藤 亮平	The effect of acetaminophen, tramadol and their combination on pain-related behavior using a rat nucleus pulposus applied model. (ラット髄核留置モデルにおける疼痛関連行

人 事

(平成30年7月1日現在)

<p>芦澤 舞 動に対するアセトアミノフェン、トラマドール、および混合投与の効果の検討 Regulation of PD-L1 by microRNA in colorectal cancer with mismatch repair deficiency. (ミスマッチ修復機構欠損を有する大腸癌における microRNA による PD-L1 制御機構)</p> <p>小島 学 過剰なクロードイン-6 シグナルは子宮内膜癌の浸潤増殖能を促進させる強力な予後不良因子である Prognostic Significance of Insomnia in Heart Failure. (心不全患者における不眠症の検討)</p> <p>菅野 優紀 臨床研修医の自己効力感が研修到達度、仕事・生活・研修満足度、および気分の状態へ与える影響の検討 臨牀研修医の自己効力感が研修到達度、仕事・生活・研修満足度、および気分の状態へ与える影響の検討</p> <p>野村 真司 卵巣漿液性腺癌と明細胞腺癌における遺伝子発現プロファイルの探索と診断への応用 卵巣漿液性腺癌と明細胞腺癌における遺伝子発現プロファイルの探索と診断への応用</p> <p>Chang Fang Yu A study on Event-Related Potentials during Decision-Making in Mixed-Strategy Game. (ゲーム理論を応用した意思決定課題による事象関連電位の研究) A study on Event-Related Potentials during Decision-Making in Mixed-Strategy Game. (ゲーム理論を応用した意思決定課題による事象関連電位の研究)</p> <p>山崎森里生 JAM-B と可溶性 JAM-C の細胞-基質間接着は脂肪由来幹細胞の維持に重要である JAM-B と可溶性 JAM-C の細胞-基質間接着は脂肪由来幹細胞の維持に重要である</p> <p>佐久間光太郎 Parietal pleural invasion/adhesion of subpleural lung cancer : quantitative 4-dimensional CT analysis using dynamic-ventilatory scanning. (肺膜直下型肺癌の壁側胸膜浸潤・癒着に対する呼吸ダイナミックCTを用いた4D 定量解析) Parietal pleural invasion/adhesion of subpleural lung cancer : quantitative 4-dimensional CT analysis using dynamic-ventilatory scanning. (肺膜直下型肺癌の壁側胸膜浸潤・癒着に対する呼吸ダイナミックCTを用いた4D 定量解析)</p> <p>小笠原 啓 A Polymorphism in the Glucocorticoid Receptor Gene is Associated with Refractory Hypotension in Premature Infants. (グルココルチコイド受容体の遺伝子多型は早産児の急性期難治性低血圧と関連する) A Polymorphism in the Glucocorticoid Receptor Gene is Associated with Refractory Hypotension in Premature Infants. (グルココルチコイド受容体の遺伝子多型は早産児の急性期難治性低血圧と関連する)</p> <p>佐藤 佑樹 Baseline serum syndecan-4 predicts prognosis after the onset of acute exacerbation of idiopathic interstitial pneumonia. (特発性間質性肺炎において安定期の血清 syndecan-4 は急性増悪後の予後予測因子である) Baseline serum syndecan-4 predicts prognosis after the onset of acute exacerbation of idiopathic interstitial pneumonia. (特発性間質性肺炎において安定期の血清 syndecan-4 は急性増悪後の予後予測因子である)</p> <p>中村 純 Feasibility of short-period,high-dose intravenous methylprednisolone for preventing stricture after endoscopic submucosal dissection for esophageal cancer : a preliminary study. (食道表在癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術後の狭窄予防における短期間高用量メチルプレドニゾロン静脈投与の有用性) Feasibility of short-period,high-dose intravenous methylprednisolone for preventing stricture after endoscopic submucosal dissection for esophageal cancer : a preliminary study. (食道表在癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術後の狭窄予防における短期間高用量メチルプレドニゾロン静脈投与の有用性)</p>	<p style="text-align: center;">◎新任教授等</p> <p>採用 30.2.1 心臓病先進治療学講座 教授 義久 精臣 発令 30.4.1 医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター 副センター長 藤島 初男</p> <p>採用 30.4.1 (会)血液内科学講座 医監 大田 雅嗣 採用 30.4.1 医療エレクトロニクス研究講座 教授 山下 俊一</p> <p>採用 30.4.1 総合科学教育研究センター 教授 開 康一 採用 30.4.1 神経再生医療学講座 教授 宇川 義一 採用 30.4.1 新医療系学部設置準備室 教授 吉田 朋美 採用 30.4.1 先端臨床研究センター 教授 高橋 和弘</p> <p>昇任 30.4.1 (会)麻酔科学講座 医監 村山 隆紀 採用 30.7.1 小児科学講座 特命教授 苦瀬 雅仁</p> <p style="text-align: center;">◎新任准教授等</p> <p>採用 30.2.1 新医療系学部設置準備室 准教授 福田 篤志 採用 30.4.1 白河総合診療アカデミー 准教授 竹島 太郎 採用 30.4.1 新医療系学部設置準備室 准教授 横塚美恵子 昇任 30.4.1 (会)感染症・呼吸器内科学講座 科部長 齋藤美和子</p> <p>昇任 30.4.1 整形外科科学講座 准教授 二階堂琢也 昇任 30.4.1 形成外科学講座 准教授 齋藤 昌美 採用 30.5.1 災害こころの医学講座 准教授 瀬藤乃理子 昇任 30.5.1 腎臓高血圧内科学講座 准教授 田中 健一 昇任 30.7.1 解剖・組織学講座 准教授 植村 武文 昇任 30.7.1 医療情報部 准教授 門馬 智之</p> <p style="text-align: center;">◎新任講師等</p> <p>採用 30.3.1 先端臨床研究センター 講師 西嶋 剣一 昇任 30.3.1 基礎病理学講座 講師 東 智仁 採用 30.4.1 (会)小腸・大腸・肛門科学講座 科長 高柳 大輔</p> <p>採用 30.4.1 (会)整形外科・脊椎外科学講座 科長 富永 亮司 採用 30.4.1 病態制御薬理医学講座 講師 堀田彰一郎 採用 30.4.1 消化器内科学講座 講師 片倉 響子 採用 30.4.1 療養支援看護学部 講師 佐々木千佳 採用 30.4.1 新医療系学部設置準備室 講師 川又 寛徳 採用 30.4.1 放射線医学県民健康管理センター 講師 國分 直子</p> <p>採用 30.4.1 放射線医学県民健康管理センター 講師 針金まゆみ 採用 30.4.1 地域・在宅看護学部 講師 阿久津和子 昇任 30.4.1 (会)消化器内科学講座 科長 佐藤 愛 昇任 30.4.1 (会)小腸・大腸・肛門科学講座 科長 五十畑則之 昇任 30.4.1 リウマチ膠原病内科学講座 講師 佐藤 秀三</p>
---	--

昇任 30.4.1	肝胆膵・移植外科学講座	講師	岡田 良
昇任 30.4.1	皮膚科学講座	講師	加藤 保信
昇任 30.4.1	皮膚科学講座	講師	花見 由華
昇任 30.4.1	泌尿器科学講座	講師	小川総一郎
昇任 30.4.1	生体物質研究部門	講師	小椋 正人
昇任 30.4.1	小児外科	講師	清水 裕史
昇任 30.4.1	療養支援看護学部	講師	齋藤 史子
採用 30.6.1	外傷再建学講座	講師	鈴木 敏之
昇任 30.7.1	免疫学講座	講師	町田 豪
昇任 30.7.1	衛生学・予防医学講座	講師	日高 友郎
昇任 30.7.1	外科研修支援担当	講師	岡山 洋和

検討委員会の検討結果にしたがって検査の進め方の向上を図ってまいりたいと思っています。

健康増進センターでは、予防・健康増進のシンクタンク的な役割を期待されており、県の健康づくり対策への助言、市町村の事業展開への支援などを行っています。本格的に事業を開始した平成29年度には平成25年度分県内市町村の健康寿命「お達者度」の算定や、健康関連データを集積した福島県版健康データベース（FDB）を県が構築する際の助言等を行いました。今年度は、直近のデータを使用した「お達者度」を算定する他、FDBを活用した分析結果による市町村事業の支援を行っています。また、新規事業として、平成31年1月から循環器疾患の発症登録事業を行う予定となっており、現在鋭意準備中です。さらに、昨年度初めて実施した健康増進イベント「いきいき健康づくりフォーラム」を、来年2月に白河市で開催する予定です。

両センターとも県からの委託が業務の主体であり、それぞれの業務を全うすることによって県民の健康増進、安全と安心な暮らしが実現されるものと考えております。これからも皆様の変わらぬご支援をお願いいたします。

■ 新任あいさつ



理事(県民健康管理担当)兼 副学長(県民健康担当)就任御挨拶

理事(県民健康管理担当)兼
副学長(県民健康担当)

八木 沼 洋 行

この度、県民健康管理担当理事を拝命しました。福島県から委託されている「県民健康調査」を実施する「放射線医学県民健康管理センター」と昨年度発足した「健康増進センター」担当理事として微力ながら尽力したいと考えております。

県民健康調査では、大震災・原発事故後の県民の被ばく線量評価と健康状態の把握、さらには将来にわたり県民の健康の維持、増進を図ることを目的とし、外部被ばく線量を推計する基本調査、甲状腺検査、健康診査、こころの健康度・生活習慣に関する調査および妊産婦に関する調査のあわせて5つの調査を実施しています。今後とも、これら調査の着実な実施、調査内容の迅速な公表、そして県民への分かり易い広報に努めていきたいと思っております。調査が始まって7年が経ち、この間、県民の安心につながる様々な調査結果も出ておりますが、こころの健康に関しては、県内外に避難された人たちや県内の妊産婦において、うつ傾向の割合が、全国平均に比べて依然として高いという結果も出ています。このような状況に対応するため、県民健康管理センターでは支援範囲を広げて電話による相談体制の強化を図っています。甲状腺検査は、本年度から4巡目となっています。県民健康調査の在り方を検討する県の「県民健康調査」検討委員会では、検査に当たっての事前説明の在り方等が議論されています。県民健康管理センターでも、本年度から健康コミュニケーション室を設置し、検査を受ける方々にきめ細かい情報提供をおこない、検査に伴う不安が少しでも軽減されるよう努めております。今後も



医学部長就任御挨拶

医学部長

竹 石 恭 知

福島県立医科大学医学部は福島県や地域の医療機関と連携して、良き医師の育成に取り組んできました。また、研究機関として総合科学、生命科学、社会医学、臨床医学の各分野で、最先端の研究成果を世界に向けて発信してきました。臨床医学では附属病院で先進の医療を提供し、県民の健康を守る役目を果たしてきました。

東日本大震災と原発事故後、本学は新たに特別な使命を担うことになりました。自然災害の多い我が国で安心して暮らすために災害医療を充実させること、そして被ばくによる健康問題の解決です。そのために最新の医療機器の導入や新施設の建設、新講座の開設など、施設や設備の充実が図られました。ふくしま国際医療科学センターが設置され、最新の診断と治療、特に周産期医療の充実が進められています。また、平成28年度より長崎大学と共同で災害医療や被ばく医療を学ぶ大学院のコースを設立し、平成30年度からはサントペテルブルク大学との共同大学院も開設します。

高度な知識と技術、そして高い倫理性を備えた医師を育成するため、更なる教育の充実を目指して卒前・卒後教育の改革を進めています。医学部では医学教育分野別評価に

対応して、平成30年度から教育カリキュラムを改訂し臨床実習を72週にします。また、本学は新専門医制度の全19基本領域の研修プログラムを有し、地域の病院と密接に連携して、県内全体で良い医師を育成できるように卒前から卒業までシームレスな教育体制をとっています。

本学は熱意と探求心にあふれる人を求めています。私達と共に学び、自由な発想で新しい医学を創造し、研究と医療を通して社会に貢献することを目指しましょう。



看護学部長就任御挨拶

看護学部長

太田 操

今年の『助産雑誌』1月号（医学書院）に「助産師か、さもなくばモアか」と題する記事が掲載されていました。ニュージーランドの助産師会創設者ジョーン・ドンリー（Joan Donley）のスピーチからなる記事です。

約30年前にニュージーランドでは、助産師が絶滅の危機に陥っていたのですが、今では妊産婦に「私は助産師呼んだのよ」と言われるほど市民権を得ており、その危機を乗り越えた歴史が紹介されています。モアとは絶滅したニュージーランド固有の巨大鳥で、その剥製は博物館に展示されているようで、この記事には「助産師は自律した専門職にならなければ、モアのように絶滅の道を辿ってしまう」というメッセージが込められているのです。

この記事を読んだ時に一瞬「看護学部か、さもなくばモアか」のフレーズが頭を過ぎってしまいました。しかし、福島県内唯一の看護系大学として開設して20年。この看護学部がモアのように、過去の遺物として附属学術情報センターに展示されるようになっては大変です。その為には、全教員が共通の目的を持ち、力を合わせ一丸となって前進する必要があります。

現在、看護学部内の大きな課題は「博士課程設置を含めた組織運営の見直し」、学部外のそれは「看護職者との連携と地域貢献」です。学部内については、組織内の役割を明確化し透明化することから始めています。少しずつ組織が落ち着いて動き出した感があります。学部外については、教員の活動を調べてみると各々が、研修担当、共同研究、看護研究のサポートなど、県内看護職者と密に連携し、学部の外にも開かれた活動を行っていることが判明しました。今までは個人の活動にとどまり、それらが集積され看護学部全体の取組となるような仕組み作りがなされていなかったのです。現在は、この課題解決に取り組んでいる最中であり、これも「組織運営の見直し」に繋がってきます。

このように現状を把握した上で、優れている点は維持し、

変革すべきところには大胆に切り込んでいきたいと思っております。まだまだ坂道は続きますが、苦しいうちは登り続けている証拠だと受け止めながら、モアの二の舞にならないよう進んで行く所存です。

諸規程改正

■ 平成30年2月から平成30年7月までの主な諸規程の制定、改正及び改廃関係

- 「公立大学法人福島県立医科大学医学部優秀教員表彰実施要項」の制定について
(平成30年3月19日制定・平成30年3月19日施行)
公立大学法人福島県立医科大学医学部優秀教員表彰実施に関して必要な事項が定められた。
- 「公立大学法人福島県立医科大学諸料金規程」の一部改正について
(平成18年4月1日制定・平成30年3月20日施行)
臨床研究審査委員会審査手数料が新設された。
- 「公立大学法人福島県立医科大学臨床研究審査委員会運営要綱」の制定について
(平成30年3月20日制定・平成30年3月20日施行)
委員会の審査意見業務を行うにあたり、必要な事項が定められた。
- 「大学院看護学研究科博士課程設置準備室要綱」の制定について
(平成30年3月31日制定・平成30年4月1日施行)
大学院看護学研究科博士課程の開設に向け、大学院看護学研究科博士課程設置準備室を設置するため、必要な事項が定められた。
- 「福島県立医科大学学則」の一部改正について
(平成18年4月1日制定・平成30年4月1日施行)
医学部の入学定員を平成30・31年度の2年間暫定的に増員するため、定員数等が改正された。
- 「福島県立医科大学医学部長選考規程施行細則」の一部改正について
(平成18年4月1日制定・平成30年4月1日施行)
有権者への送付資料を現状に併せて追加する等の改正が行われた。
- 「福島県立医科大学大学院看護学研究科履修規程」の一部改正について
(平成18年4月1日制定・平成30年4月1日施行)
成績評価の評価基準と内容を明記する等の改正が行われた。

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○「公立大学法人福島県立医科大学組織及び運営規程」の一部改正について
(平成18年4月1日制定・平成30年4月1日施行)
法人の内部組織に新医療系学部設置推進本部を追加する等、組織改正に伴い規程が改正された。 ○「福島県立医科大学倫理委員会規程」の一部改正について
(平成18年4月1日制定・平成30年4月1日施行)
臨床研究法の規定に基づく臨床研究審査委員会の設置にあたり規程が改正された。 ○「福島県立医科大学看護学部長選考規程施行細則」の一部改正について
(平成18年4月1日制定・平成30年4月1日施行)
有権者への送付資料を現状に併せて追加する等の改正が行われた。 ○「福島県立医科大学保健科学部（仮称）入学者選抜委員会要綱」の制定について
(平成30年4月1日制定・平成30年4月1日施行)
福島県立医科大学保健科学部（仮称）入学者選抜委員会の設置にあたり必要な事項が定められた。 ○「新医療系学部設置推進本部要綱」の制定について
(平成30年4月1日制定・平成30年4月1日施行)
新医療系学部設置推進本部に関し必要な事項が定められた。 ○「公立大学法人福島県立医科大学クロス・アポイントメント制度に関する規程」の制定について
(平成30年4月1日制定・平成30年4月1日施行)
本学と本学以外の機関の協定に基づき適用するクロス・アポイントメント制度について必要な事項が定められた。 ○「福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター教員適任者資格審査委員会規程」の一部改正について
(平成27年4月1日制定・平成30年4月1日施行)
健康増進センター教員の給与支給方法と、適用する就業規則が変更された。 ○「福島県立医科大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究に係る個人情報管理に関する要綱」の一部改正について
(平成18年4月1日制定・平成30年4月1日施行)
福島県立医科大学における人を対象とする医学系研究に関する規程の制定に伴い改正が行われた。 ○「福島県立医科大学附属病院規程」の一部改正について
(平成18年4月1日制定・平成30年4月1日施行)
中央診療施設に「心臓血管センター」を設置し、附属病院副院長規程改正に伴い文言等が改正された。 ○「福島県立医科大学附属病院臨床研究センター規程」の一部改正について
(平成18年4月1日制定・平成30年4月1日施行)
臨床研究法に関する事項等が改正された。 | <ul style="list-style-type: none"> ○「公立大学法人福島県立医科大学附属病院臨床研究・治療推進会議設置要綱」の一部改正について
(平成28年11月16日制定・平成30年4月1日施行)
会議の構成等が改正された。 ○「福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター先端臨床研究センター規程」の一部改正について
(平成28年4月1日制定・平成30年4月1日施行)
内部の責任分担が明確化された。 ○「福島県立医科大学附属病院治験審査委員会規程」の一部改正について
(平成18年4月1日制定・平成30年4月1日施行)
職指定委員（附属病院臨床研究センター長）が削除される等の改正が行われた。 ○「福島県立医科大学附属病院医薬品等臨床試験実施細則」の一部改正について
(平成18年4月1日制定・平成30年4月1日施行)
平成30年4月1日付け福島県立医科大学附属病院治験審査委員会規程の改正に伴い改正が行われた。 ○「公立大学法人福島県立医科大学人事管理委員会規程」の一部改正について
(平成19年7月2日制定・平成30年4月1日施行)
理事の変更に伴い規程が改正された。（第3条関係） ○「女性医師の産休等に伴う定数配分先選定委員会規程」の一部改正について
(平成23年10月1日制定・平成30年4月1日施行)
理事の変更に伴い規程が改正された。（第3条関係） ○「公立大学法人福島県立医科大学兼業許可審査会規程」の一部改正について
(平成18年4月1日制定・平成30年4月1日施行)
委員の表記の変更及び理事の担当変更に伴い、委員長の変更が行われた。 ○「福島県立医科大学組換えDNA実験安全管理規程」の一部改正について
(平成18年4月1日制定・平成30年4月1日施行)
庶務を担当する事務局について変更が行われた。 ○「公立大学法人福島県立医科大学契約細則」の一部改正について
(平成18年4月1日制定・平成30年4月1日施行)
予定価格が10万円以上（工事の請負又は少額備品の取得以外は50万円以上）の場合においては、なるべく2人以上の者から見積書を徴すことが定められた。 ○「PET 機器の研究利用にかかる実施要綱」の一部改正について
(平成26年1月1日制定・平成30年4月1日施行)
使用料の請求について、原則四半期ごとの請求であること等の記載が追加された。 ○「福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター放射線医学県民健康管理センター規程」の一部改正について
(平成23年4月1日制定・平成30年4月1日施行) |
|--|--|

組織（第3条第1項）本文中の「健康調査部門」を廃止し、「健康調査基本部門」及び「健康調査県民支援部門」が新たに設置された等、表内の部門及び各室、業務の内容について改正が行われた。

○「公立大学法人福島県立医科大学利益相反のマネジメントに関する要綱」の一部改正について

（平成21年3月25日制定・平成30年4月1日施行）

臨床研究法施行に伴う項目追加及び日本医療研究開発機構（AMED）受託案件に関する事項が明確にされた。（第14条関係）

○「公立大学法人福島県立医科大学ハラスメント防止規程」の一部改正について

（平成18年4月1日制定・平成30年4月1日施行）

平成30年4月1日付け公立大学法人福島県立医科大学組織及び運営規程の改正により、ハラスメント対策委員会を組織する委員について改正された。

○「公立大学法人福島県立医科大学病児病後児保育所運営要綱」の一部改正について

（平成23年4月18日制定・平成30年4月1日施行）

病児病後児保育所への受入を判定する小児科医に対して、支払謝金の額を県予算基準単価表にあわせて改められた。

○「公立大学法人福島県立医科大学附属病院未承認新規高度管理医療機器及び高難度新規医療技術を用いた医療提供に関する規程」の一部改正について

（平成29年3月1日制定・平成30年4月11日施行）

未承認高度管理医療機器を用いる臨床研究を、制度の対象から除外する等の改正が行われた。

○「公立大学法人福島県立医科大学附属病院高度管理医療機器・高難度新規医療技術評価室業務規程」の一部改正について

（平成29年3月1日制定・平成30年4月11日施行）

変更手続きの設定等について改正された。

○「公立大学法人福島県立医科大学附属病院未承認新規医薬品を用いた医療提供に関する規程」の一部改正について

（平成29年3月1日制定・平成30年4月11日施行）

未承認高度管理医療機器を用いる臨床研究を、制度の対象から除外する等の改正が行われた。

○「公立大学法人福島県立医科大学附属病院未承認医薬品評価室業務規程」の一部改正について

（平成29年3月1日制定・平成30年4月11日施行）

変更手続きの設定等について改正された。

○「福島県立医科大学附属病院医薬品安全使用部会内規」の一部改正について

（平成20年6月5日制定・平成30年4月20日施行）

附則における、医療安全管理責任者の規程が本則へ変更される等の改正が行われた。

○「公立大学法人福島県立医科大学知的財産権の実施許諾等に関する規程」の一部改正について

（平成26年6月16日制定・平成30年5月14日施行）

組織の改編に伴い規程の改正が行われた。

○「公立大学法人福島県立医科大学知的財産に対する補償金支払細則」の一部改正について

（平成18年4月1日制定・平成30年5月14日施行）

補償金が特許法第35条第4項で定める相当の金銭その他の経済上の利益であることを明確にする等、組織の改編に伴う記載の整備が行われた。

○「公立大学法人福島県立医科大学受託研究取扱細則」の一部改正について

（平成18年4月1日制定・平成30年5月14日施行）

組織の改編に伴い記載の整備が行われた。

○「公立大学法人福島県立医科大学共同研究取扱細則」の一部改正について

（平成18年4月1日制定・平成30年5月14日施行）

組織の改編に伴い記載の整備が行われた。

○「福島県立医科大学附属病院総合医療情報システム運用管理内規」の一部改正について

（平成18年4月1日制定・平成30年5月16日施行）

別表1に定める利用者の資格区分に看護師Ⅵが追加された。（第4条関係）

○「公立大学法人福島県立医科大学医療研究推進センター教員適任者選考規程」の制定について

（平成30年5月25日制定・平成30年5月25日施行）

医療研究推進センター教員を採用するにあたり、選考に関する規程が定められた。

○「福島県立医科大学医学部履修規程」の一部改正について

（平成18年4月1日制定・平成30年5月25日施行）

卒業認定の見直し、新カリキュラムでの臨床実習実施に伴う変更及びその他所要の改正が行われた。

○「福島県県民健康調査「健康診査」小児健康診査交付金交付要綱」の一部改正について

（平成23年12月8日制定・平成30年5月30日施行）

平成30年4月より診療報酬の改定があったことから、関係機関へ交付する単価の増額等が行われた。（別表1、2）

○「福島県県民健康調査「健康診査」小児健康診査実施要領」の一部改正について

（平成23年12月8日制定・平成30年5月30日施行）

別紙の変更、削除等が行われた。

○「福島県県民健康調査「健康診査」小児健康診査検体検査実施要領」の一部改正について

（平成28年6月28日制定・平成30年5月31日施行）

関係機関へ交付する単価の増額等が行われた。（第7条第2項、別表1関係）

- 「うつくしま治験ネットワーク要綱」の一部改正について
(平成19年4月1日制定・平成30年6月13日施行)
平成28年4月1日付け組織名称変更に伴い庶務(第10条)について、変更のあった日より適用することとし、改正された。
- 「福島県立医科大学附属病院医薬品等製造販売後調査実施細則」の一部改正について
(平成25年4月1日制定・平成30年6月25日施行)
書式7の第12条及び書式8の第13条に(ガイドラインに基づく公開)が追加される等の改正が行われた。
- 「福島県立医科大学大学院看護学研究科長期履修に関する規程」の一部改正について
(平成18年4月1日制定・平成30年6月27日施行)
長期履修短縮申請の提出時期、長期履修短期申請書が改正された。
- 「福島県立医科大学会津医療センター附属病院医薬品等製造販売後調査実施細則」の一部改正について
(平成25年5月12日制定・平成30年6月29日施行)
書式7の第12条及び書式8の第13条に(ガイドラインに基づく公開)が追加される等の改正が行われた。
- 「公立大学法人福島県立医科大学立替払事務取扱要綱」の一部改正について
(平成18年4月1日制定・平成30年6月6日施行)
立替払請求書の請求者氏名欄の下に「職員番号」記載欄が追加された。(別紙様式)
- 「福島県立医科大学附属病院における臨床研究法に基づく臨床研究実施規程」の制定について
(平成30年7月1日制定・平成30年7月1日施行)
当院において臨床研究法に基づいて実施される臨床研究が適正に実施されるよう、必要な事項が定められた。
- 「福島県立医科大学附属病院コンセプト検討会運営要綱」の制定について
(平成30年7月1日制定・平成30年7月1日施行)
当該検討会の設置・運営に関し必要な事項が定められた。
- 「福島県立医科大学附属病院プロトコール作成支援会議運営要綱」の制定について
(平成30年7月1日制定・平成30年7月1日施行)
当該会議の設置・運営に関し必要な事項が定められた。
- 「福島県立医科大学新医療系学部設置準備室教員選考委員会規程」の一部改正について
(平成28年7月20日制定・平成30年7月1日施行)
教員の選考方法が見直された。
- 「福島県立医科大学動物実験計画書審査事務処理内規」の一部改正について
(平成20年1月10日制定・平成30年7月3日施行)
動物実験計画書提出先について、動物実験委員会事務担当者のアドレスであったものが、医療研究推進課内の

動物実験委員会の共有アドレスへ変更された。

- 「公立大学法人福島県立医科大学臨床研究審査委員会審査手数料取扱要領」の一部改正について
(平成30年3月20日制定・平成30年7月4日施行)
審査内容の範囲及び審査依頼時の研究進捗状況が明確にされた。
- 「医学部教員の海外出張に関する教授会申合せ」の一部改正について
(平成18年4月1日制定・平成30年7月18日施行)
海外学術研究旅費事業の選考要件に、前年度に科研費等の応募を行っていること等が追加された。
- 「福島県立医科大学聴講生規程」の一部改正について
(平成18年4月1日制定・平成30年7月18日施行)
入学願書様式(様式第1号)等が変更された。

役員会・経営審議会・ 教育研究審議会・医学部 教授会・看護学部教授会

■ 役員会

【平成30年2月28日 第12回役員会】

- 男女共同参画推進行動計画及び一般事業主行動計画について
平成27年2月に策定した「男女共同参画推進行動計画」が、平成30年3月31日で終了することから、男女共同参画推進本部会議において取りまとめた今後3年間の行動計画について審議され、原案のとおり了承された。

【平成30年3月28日 第13回役員会】

- 寄附講座の変更について
「肺高血圧先進医療学講座」「生活習慣病・慢性腎臓病(CKD)病態治療学講座」「地域救急医療支援講座」の更新、「生体機能イメージング講座」の延長について原案のとおり了承された。
- 大学機関別認証評価受審結果について
昨年7月から年末までに受審した大学機関別認証評価について、評価機関である独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から「大学評価基準を満たしている」との通知があった旨、報告が行われた。

【平成30年4月2日 第1回役員会】

- 部局長等の選考について
次のとおり、部局長等を選考したことについて報告が行われた。

(総括副学長・副学長就任者)	
〈改称〉総括副学長(総務)	大戸 齊
〈新設〉副学長(県民健康担当)	八木沼洋行
副学長(学務担当)	安村 誠司
副学長(臨床教育担当)	齋藤 清
副学長(地域医療担当)	紺野 慎一
〈新設〉副学長(特命担当)	錫谷 達夫
〈改称〉副学長(国際担当)	山下 俊一
副学長(業務)	神谷 研二
副学長(医師確保・健康長寿担当)	福原 俊一
副学長(業務)	吉村 泰典

【平成30年4月25日 第2回役員会】

○「第3期中期計画の認可について」

県へ認可申請していた第3期中期計画について、平成30年3月22日付けで認可されたことについて報告が行われた。

【平成30年5月25日 第3回役員会】

○「日露大学協会」への加盟及び「医療健康セクション」への参加について

他大学との情報共有・連携等のため、「日露大学協会」への加盟及び「医療健康セクション」への参加について審議し、原案のとおり了承された。

【平成30年6月25日 第4回役員会】

○平成29事業年度に係る業務の実績及び中期目標期間(平成24～29事業年度)に係る業務の実績に関する報告書について

福島県公立大学法人評価委員会に報告するため、平成29事業年度に係る業務実績と第2期中期目標期間の6年間の業務実績としてとりまとめた報告書について審議され、原案のとおり承認された。

【平成30年7月25日 第5回役員会】

○福島市産官学連携プラットフォーム構築と包括的な連携に関する協定の締結について

福島市に拠点を置く産官学機関が連携し、地域の課題に迅速かつ適切に対応し、地方創生の中心的役割を担う「人財」育成と、地域の活性化に取り組むとともに、住みよいまちづくりに寄与することを目的とした協定の締結について審議され、原案のとおり了承された。

■ 経営審議会

【平成30年3月13日 平成29年度第4回経営審議会】

○平成30年度法人予算案について

平成30年度の法人予算案について諮られ、原案のとおり承認された。

■ 教育研究審議会

【平成30年3月13日 平成29年度第4回教育研究審議会】

○平成30年度 年度計画案について

平成30年度年度計画についての審議が行われ、原案のとおり承認された。

○新医療系学部の設置(中間まとめ)について

新医療系学部設置準備委員会でのこれまでの検討結果を取りまとめた中間まとめを、1月25日の第5回委員会終了後に公表したこと等についての報告が行われた。

【平成30年6月8日 平成30年度第1回教育研究審議会】

○教育研究審議会の委員改選に伴う理事長選考会議の委員選出について

次のとおり選出された。

大戸 齊 委員(総括副学長)

竹石 恭知 委員(医学部長)

太田 操 委員(看護学部長)

また、補充員として、黒田直人委員(附属学術情報センター長)が互選された。

○平成29事業年度に係る業務の実績及び中期目標期間(平成24～29事業年度)に係る業務の実績に関する報告書について

福島県公立大学法人評価委員会に報告する平成29事業年度に係る業務実績及び第2期中期目標期間(24年度～29事業年度)6年間の業務実績に関する報告書概要版について審議され、原案のとおり承認された。

■ 医学部教授会

【平成30年3月19日 定例教授会】

○臨床研究審査委員会委員の推薦について

次のとおり選出され、学長に推薦された。

挾間 章博 教授(細胞統合生理学講座)

鈴木 義行 教授(放射線腫瘍学講座)

藤野美都子 教授(人間科学講座)

○組換えDNA実験安全委員会委員の推薦について

荻谷慶喜准教授(生化学講座)が選出され、学長に推薦された。

○研究用微生物安全管理委員会委員の推薦について

各務竹泰講師(衛生学・予防医学講座)が選出され、学長に推薦された。

○平成30年度医学部教務委員会委員の選任について

次のとおり選出された。

永福 智志 教授(システム神経科学講座)

関根 英治 教授(免疫学講座)

橋本 優子 教授(病理病態診断学講座)

藤野美都子 教授(人間科学講座)

河野 浩二 教授(消化管外科学講座)

室野 重之 教授 (耳鼻咽喉科学講座)
 伊関 憲 教授 (救急医療学講座)
 風間順一郎 教授 (腎臓高血圧内科学講座)

上記8名の任期は本年4月1日から2年間

竹石 恭知 教授 (循環器内科学講座)
 木村 隆 教授 (外科研修支援担当)
 松岡 有樹 教授 (自然科学講座)

濱口 杉大 教授 (附属病院総合内科)

上記4名の任期は本年4月1日から1年間

○平成30年度医学部入試委員会委員の選任について

次のとおり選出された。

下村 健寿 教授 (病態制御薬理医学講座)
 福島 哲仁 教授 (衛生学・予防医学講座)
 石川 徹夫 教授 (放射線物理化学講座)
 池添 隆之 教授 (血液内科学講座)
 伊藤 浩 教授 (放射線医学講座)
 室野 重之 教授 (耳鼻咽喉科学講座)
 志村 清仁 教授 (自然科学講座)
 松岡 有樹 教授 (自然科学講座)
 和田 郁夫 教授 (細胞科学研究部門)
 開 康一 教授 (総合科学教育研究センター)

上記10名の任期は本年4月1日から2年間

島袋 充生 教授 (糖尿病内分泌代謝内科学講座)

※健康診断担当委員

和栗 聡 教授 (解剖・組織学講座)
 丸橋 繁 教授 (肝胆膵・移植外科学講座)
 長谷川有史 教授 (放射線災害医療学講座)
 岡田 達也 教授 (自然科学講座)
 大谷 晃司 教授 (医療人育成・支援センター)

上記6名の任期は本年4月1日から1年間

【平成30年4月18日 定例教授会】

○附属学術情報センター運営委員会委員の推薦について

次のとおり選出され、学長に推薦された。

亀岡 弥生 教授 (医療人育成・支援センター)
 大平 哲也 教授 (疫学講座)
 伊藤 浩 教授 (放射線医学講座)
 鈴木 悟 教授 (放射線医学県民健康管理センター)
 志村 清仁 教授 (自然科学講座)
 末永 恵子 講師 (人間科学講座)

【平成30年6月20日 定例教授会】

○一般倫理委員会委員の推薦について

次のとおり選出され、学長に推薦された。

- 生命科学・社会医学系教授
 - 福島 哲仁 教授 (衛生学・予防医学講座)
 - 坂井 晃 教授 (放射線生命科学講座)
- 臨床医学系教授
 - 右田 清志 教授 (リウマチ膠原病内科学講座)

佐治 重衡 教授 (腫瘍内科学講座)

- 倫理・法律を含む人文・社会科学面の有識者
 - 藤野美都子 教授 (人間科学講座)

○倫理委員会専門部会員の推薦について

次のとおり選出され、学長に推薦された。

- 分子生物学 細胞生物学又は生物学を専門とする講座等の教授
 - 千葉 英樹 教授 (基礎病理学講座)
 - 和田 郁夫 教授 (細胞科学研究部門)
- 遺伝子治療臨床研究が対象とする疾患に係る臨床医
 - 池田 和彦 教授 (輸血・移植免疫学講座)
- 生殖医学を専門とする講座等の教授
 - 藤森 敬也 教授 (産婦人科学講座)
 - 小島 祥敬 教授 (泌尿器科学講座)
- 生命倫理に関する識見を有する者
 - 福田 俊章 准教授 (人間科学講座)

■ 看護学部教授会

【平成30年4月17日 定例教授会】

○附属学術情報センター運営委員会委員の推薦について

次のとおり選出され、学長に推薦された。

本多たかし 教授 (生命科学部門)
 森 努 准教授 (生命科学部門)
 佐藤 利憲 講師 (家族看護学部部門)
 川島 理恵 講師 (基礎看護学部部門)

【平成30年6月19日 定例教授会】

○一般倫理委員会委員の改選について

次のとおり選出され、学長に推薦された。

坂本 祐子 教授 (療養支援看護学部部門)
 山手 美和 教授 (地域・在宅看護学部部門)

編集発行 公立大学法人福島県立医科大学
 事務局企画財務課
 〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地
 TEL 024 (547) 1013 FAX 024 (547) 1991